

# たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校

横山文朗

## 栽培園の看板



教頭先生から「栽培園の看板が傷んでいて作りかえたいんです。」と相談があった。栽培園の看板は、以前に私が作ったもので、昨年四月に見てそのことには気付いていた。作って10年近く経つものだから傷んで当然だとも思っていた。あの看板は、子どもたちに原画を募集して、今は柳井原小学校で勤務している畠中先生がかいたものだ。

同じ発想で、看板を作りかえることにした。板は、長男が子どもの頃使っていた机の天板を使った。昔の物なので、集成材とはいえ檜の板でこれならば長くもつだろう。絵は、栽培委員会の窪山先生と前田彩香先生が提案して、栽培委員会の子どもが原画をかいた。子どもたちのアイデアをもとに明石美香先生が看板にペンキでかいた。看板は見事に仕上がり、今週中には、栽培委員会が昼の学校放送で紹介し、各学級を回って見ってもらう予定だ。明石先生は、自宅でペンキを塗ってくださった由で、どうもご主人も作業して下さったらしい。お二人でペンキでかいている様子を想うとほほえましくもあり、ありがたいなあとも思った。

二万小学校に勤務しているところに、PTAで廃品回収をしていて、リヤカーが廃品として出された。タイヤやリームは朽ちていて使えないがフレームはさびてはいるが何とか使用できそうに思った。同じく廃品のママチャリから車輪を外して片輪にはブレーキ

も付けた。フレームのさびを落として、緑に少し白を加えた色に塗った。荷台とあおりは黄色に白を加えた色を塗った。ちょうどかぼちゃの皮と身の色のような仕上がりになった。それに、野菜や果物や子どもたちの絵をかいた。子どもたちに名前を募集し、りんりんくんと名付けた。りんりんくんは、自転車のサドルの後ろに連結され、栽培園に肥料を運んだり、子どもたちを乗せて校庭を走ったりと大人気だった。昨年、二万小学校に行くと、さすがにりんりんくんはなかったが、真新しいリヤカーが置かれている。名前は「りんりんくん二号」だそうだ。

来週にも、看板を設置しようと思うが、子どもたちが栽培活動をするときに看板を見て、うきうきした気持ちになってくれるといいなと思っている。

